

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

企業理念

感動を・ともに・創る：音・音楽を原点に培った技術と感性で、新たな感動と豊かな文化を世界の人々とともに創りつづける

売上成長
5%

ROE
10%

② 中長期の経営戦略

1. 強固な事業基盤の再構築

既存事業の構造改革。ピアノ・ギター事業は高付加価値製品比重を高め収益性改善。デジタルピアノの競争力強化。音響事業はB2B対応の組織体制整備で販売力強化

3. 経営基盤の強化

資本・資産効率向上、人的資本強化（ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン推進、グローバル人材育成）、コーポレートガバナンス強化

2. 未来を創る挑戦

新規ドメイン拡大。楽器はカスタマーサクセス起点ヘシフト。音響は車載オーディオ、エンタテインメント、商業施設向けソリューション。インド・フィリピン等成長市場への投資

4. 事業ポートフォリオ管理

成長事業（エンタテインメントPA・電子楽器・B&O）は競争力強化優先。収益性低下事業（ピアノ・ギター・ホームオーディオ）は構造改革。新規事業（音楽系サービス・モビリティソリューション）育成

③ 対処すべき課題

① 既存事業の収益力回復

- ・ピアノ・ギター事業の構造改革と高付加価値化で収益性改善
- ・音響事業のB2B対応体制整備で販売力強化
- ・デジタルピアノ等で競争力を強化し成長軌道へ

② 新規領域への戦略投資

- ・隣接・新規領域への積極的な投資で中長期成長基盤構築
- ・音楽系サービス・モビリティソリューション・ビジネスソリューション展開
- ・社会課題解決型ビジネスの実証と育成

③ 経営基盤の高度化

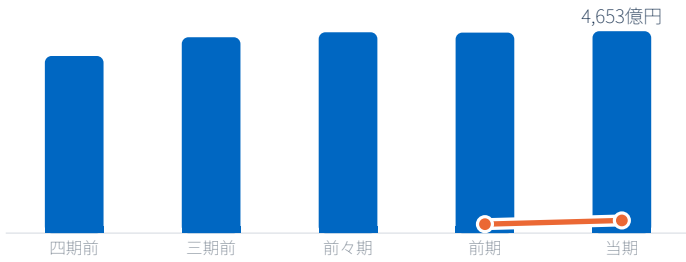
- ・資本収益性の可視化と投資配分の最適化
- ・ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン推進
- ・ガバナンス強化で透明性・公正性高い経営体制確立

面接で使えるポイント

- ・音・音楽を原点に「感動を・ともに・創る」企業理念で社会課題解決を目指すヤマハの成長戦略
- ・年平均5%売上成長・最終年度ROE10%達成に向け3つの戦略方針で既存事業再構築と新規領域開拓を推進
- ・インド・フィリピン等成長市場投資と生成AI時代の新価値創造で事業ドメイン拡大を加速

証券コード 7951

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
4,653億円営業利益率
6.3%財務健康度
53点 / 100点

将来性 雨 / 就活偏差値 64.5（当サイト算出の参考指標）

平均年収
795万円

その他製品内 15位/105社

平均年齢
43.0歳

その他製品内 44位/105社

平均勤続
18.0年

その他製品内 16位/105社

女性管理職
10.0%

その他製品内 37位/83社

男性育休
90.1%

その他製品内 25位/63社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考: 中小規模会場向けイマージンオーディオの実証実験を開始 | ヤ

